

公益社団法人日本動物学会 令和六年度中部支部大会（福井大会）開催報告

令和六年度日本動物学会中部支部大会を、令和6年12月7日から8日にかけて、福井大学文京キャンパス総合研究棟Iにて開催いたしました。本年の大会は、対面での参加を中心とし、高校生の口頭発表のみをオンラインと対面両方としました。大学院生・大学生の部門では18題の口頭発表、6題のポスター発表、高校生・高専生の部門では4題の口頭発表(1題のオンライン発表含む)、16題のポスター発表が行われました。参加者は、現地会場が112名、オンラインが1名となりました。

発表に関しては、大学院生・大学生および高校生・高専生を対象にそれぞれの発表内容に関し中部支部役員の先生方に評価をしていただき、口頭発表とポスター発表から最優秀発表賞と優秀発表賞を選考いたしました。結果として、大学生・大学院生の部門では、口頭発表から最優秀賞1件、優秀賞16件が決定し、ポスター発表からは、最優秀賞2件と優秀賞1件が決まりました。高校生・高専生の部門では、口頭発表より最優秀賞が1件、優秀賞が3件、ポスター発表から最優秀賞1件と優秀賞15件が決まりました。

公開シンポジウムとしては「脊椎動物の進化と起源」と題し、3名の先生方にご講演をいただきました。浦田 慎先生(能登里海教育研究所)には、「脊椎動物に至るボデュープラインの成り立ち」について特に間接発生をする海産無脊椎動物に焦点を当てたお話をしていただきました。足立 礼孝先生(東京科学大学)には、「Hoxコードを超えた頭部骨格筋の発生」と題し、哺乳類を用いた遺伝学を駆使した細胞系譜から神経堤細胞に発現するHox遺伝子群の支配を頭部中胚葉が如何に逸脱し、表情筋を形成するかについてのお話をいただきました。Cantas Alev先生(京都大学)には、「Towards reconstructing vertebrate axial development in vitro」と題し、iPS細胞などから人工的に誘導した神経系や筋骨格系オルガノイドを、さらに進化的文脈において展開するお話をいただきました。7日の夜には、懇親会を開催し、21名の参加者が親睦を深めました。

今回の福井大会におきましては、実行委員会の人数が少ない中、前支部長、現支部長をはじめ、支部役員の先生方や、福井大学教育学部名誉教授の前田先生の多大なる影のご尽力があったこと、誠に感謝申し上げます。至らぬ点が多々あったことと存じますが、ご容赦いただければ幸いです。来年度の中中部支部大会は静岡大学(静岡県静岡市)にて開催される予定です。さらに来年度は、名古屋にて動物学会の本大会も開催さ

れます。どちらの学会へのご参加もご検討頂ければ嬉しく存じます。

2024年12月10日

大会実行委員長 尾内 隆行

各賞表彰

大学院生・大学生部門

最優秀口頭発表賞

OP1-9 飼育下におけるアイフィンガーガエルの繁殖行動と子育て行動の観察

中山 聡¹、中町 智哉²、松田 恒平²、今野 紀文² (¹富山大学理学部生物学科、²富山大学学術研究部理学系)

優秀口頭発表賞

OP1-1 キンギョの摂食行動、選好性行動及び運動活性に及ぼす生殖腺刺激ホルモン放出ホルモンの影響

小畑 悠真¹、今野 紀文²、中町 智哉²、松田 恒平² (¹富山大学・理・生物、²富山大学・学術研究・理学)

OP1-2 キンギョにおけるドーパミン及び γ -アミノ酪酸(GABA)の不安緩和作用の解析

五十嵐 裕太¹、今野 紀文²、中町 智哉²、松田 恒平² (¹富山大学・院医薬理工・生体制御、²富山大学・学術研究・理学)

OP1-3 Open CV等のpythonライブラリを用いたキンギョの遊泳行動の観察と選好性行動の分析

壬生 啓貴¹、鬼頭 歩夢¹、稲葉 晴紀²、仲田 崇人²、木村 巖³、上田 肇一³、今野 紀文³、中町 智哉³、松田 恒平³ (¹富山大学・理・生物、²富山大学・理・数学、³富山大学・学術研究・理学)

OP1-4 トラフグにおける選好性行動の観察と脳地図の作成

牧田大輝¹、松原 創²、今野紀文³、中町智哉³、松田恒平³ (¹富山大学・院理工・地球生命環境、²金沢大学・理工水産センター、³富山大学・学術研究・理学)

OP1-6 高山蝶ミヤマモンキチョウの亜種分化に至る分布域形成過程の解明

清水 大輔¹、木下 豪太²、山崎 裕治² (¹富山大学大学院、²富山大学学術研究部理学系)

OP1-7ゼブラフィッシュの社会的選好行動における下垂体アデニルシクラーゼ活性化ポリペプチド(PACAP)の作用機序の解明

関 椋太¹, 今野 紀文², 松田 恒平², 中町 智哉² (¹富山大学・院理工・地球生命環境, ²富山大学・学術研究・理学)

OP1-8 ゼブラフィッシュの卵巣における PACAP KO による影響の評価および PACAP の発現局在解析

桑原 想¹, 前田 龍之介¹, 今野 紀文², 松田 恒平², 中町 智哉² (¹富山大学・院理工・地球生命環境, ²富山大学・学術研究・理学)

OP1-11 ムラサキヌタウナギにおける甲状腺ホルモン合成機構に関する分子生物学的解析

古寺 孝太郎¹, 秋山 朋花², 村松 万里², 世儀 直也², 森内 良太³, 道羅 英夫³, 鈴木 雅一^{1,2} (¹静岡大学・理, ²静岡大学・院理, ³静岡大学・静共センター)

OP1-12 立山連峰・室堂平におけるニホンライチョウ *Lagopus muta japonica* のなわばり形成パタンの推定

澤越 美幸¹, 山崎 裕治² (¹富山大・院理工・地球生命環境, ²富山大・学術・理学系)

OP1-13 ゼブラフィッシュの脳梗塞モデルを用いた下垂体アデニル酸シクラーゼ活性化ポリペプチド (PACAP) の神経保護機構の解明

鳴海 輝¹, 今野 紀文², 松田 恒平², 中町 智哉² (¹富山大学・院理工・地球生命環境, ²富山大学・学術研究・理学)

OP2-6 イカ類 (アオリイカ) の生理に及ぼす能登海洋深層水の影響について

泉 梨玖¹, 端野 開都¹, 丸山 雄介², 服部 淳彦², 吉田 真明³, 平山 順⁴, 田渕 圭章⁵, 小木曾 正造¹, 永見 新¹, 松原 創¹, 鈴木 信雄¹ (¹金沢大学, ²立教大学, ³島根大学, ⁴文教大学, ⁵富山大学)

OP2-7 魚類の骨芽細胞及び破骨細胞に対するホルモン (メラトニン凝集ホルモン及びカルシトニン) の作用: キンギョのウロコを用いた解析

黒田 康平¹, 水澤 寛太², 高橋 明義², 池亀 美華³, 丸山 雄介⁴, 松原 創¹, 本田 匡人¹, 田渕 圭章⁵, 平山 順⁶, Ajai K. Srivastav⁷, 服部 淳彦⁴, 鈴木 信雄¹ (¹金沢大学, ²北里大学, ³岡山大学, ⁴立教大学, ⁵富山大学, ⁶文教大学, ⁷ゴラクプール大学)

OP2-8 人工衛星を用いた宇宙実験のための基礎的な解析: ゼブラフィッシュのウロコを用いた解析

瀧野 晴美¹, 小林 静¹, 小林 功¹, 黒田 康平¹, 丸山 雄介², 池田 わたる³, 上野 宗一郎³, 松原 創¹, 本田 匡人¹, 古澤 之裕⁴, 田渕 圭章⁵, 三島 弘幸⁶, 池亀 美華⁷, 高橋 昭久⁸, 平山 順⁹, 服部 淳彦², 鈴木 信雄¹ (¹金沢大学, ²立教大学, ³株式会社IDDK, ⁴富山県立大学, ⁵富山大学, ⁶東京大学, ⁷岡山大学, ⁸群馬大学, ⁹文教大学)

OP2-9 潜在的な生物多様性の評価手法確立を目的とした富山県の哺乳類相調査

松宮 匠吾¹, 河合 直緒¹, 山崎 裕治¹ (¹富山大学・理)

OP2-10 生殖腺テラトーマ発症機構解明に向けた MC4R リガンドの特定

大浦 薫¹, Abdullah AN Naser², 宮寄 岳大³, 徳元 俊伸⁴ (¹静岡大学大学院・総合科学技術研究科, ²静岡大学理学部, ³京都大学・医学研究科, ⁴静岡大学・創造科学技術大学院・バイオサイエンス専攻)

OP2-11 ヒラタクワガタ種群で体サイズバリエーションが生じる生理機構の解析

○太田垣 一矢¹，北村 明浩¹，黒田 由佑¹，後藤 寛貴¹（¹静岡大院・総科技）

最優秀ポスター発表賞

P3 2種類のウシガエルプロラクチンの測定系の開発

松本 玲奈¹，奥本 綾華¹，森田 彩花¹，岡田 令子¹（¹静岡大・院総合科学技術・生物）

P6 タカサゴシロアリの不妊カーストにおける労働分業の行動観察と関連遺伝子の発現解析

戸塚 大和¹，藤原 克斗²，前川 清人³（¹富山大学・理、²富山大院・理工、³富山大学・学術）

優秀ポスター発表賞

P5 シロアリにおける重複遺伝子の発現パターンの種間比較

○宮澤 凱¹，芦原 流聖¹，藤原克斗¹，前川 清人²（¹富山大院・理工、²富山大・学術）

高校生・高専生部門

最優秀口頭発表賞

OP2-1 高山におけるヒメバチ科の吸蜜性について

廣瀬 誠¹（¹長野県松本県ヶ丘高等学校）

優秀口頭発表賞

OP2-2 メダカは鏡に映った自分を「自分」と認識できるのか

磯辺 悠生，金沢 寧々，蓮本 望乃，平野 立季（石川県立七尾高校）

OP2-3 環境DNAを利用したホクリクサンショウウオの生息地の推定と保護活動について

金井 希¹，李 東濤¹，片林 萩月¹，高橋 健太郎¹，川田 唯斗¹，轡田 蒼葉¹，橋本瑞希¹（¹富山県立富山中部高等学校）

OP2-4 のとじま水族館のウミガメは、アカウミガメとタイマイの交雑個体なのか

金沢 寧々¹，佐竹 美洸¹，関 陽向¹，干場 真歩¹（¹石川県立七尾高校）

最優秀ポスター発表賞

P18 駿河湾の海洋生物への温暖化の影響を探る～水中ドローン・SNS・岸壁採集の活用～

小奈 祐太¹、森莉 緒菜²、渡辺 優月³、大本 樹⁴、本田 花蓮⁵、太田 結月¹、吉澤 勇希¹、奥平 和哲¹、(教) 大津 孝佳¹ (¹沼津工業高等専門学校、²島田市立島田第二中学校、³加藤学園暁秀中学校、⁴長泉町立北中学校、⁵浜松市立中部学園)

優秀ポスター発表賞

P7 カエルの皮膚における間脳視床下部ホルモンの発現

近藤 千智^{1,2}、岡田 令子^{2,3} (¹大阪府立豊中高等学校、²静岡大・未来の科学者養成スクール、³静岡大・理・生物)

P8 水質から迫るハリヨ個体数減少原因

佐々木 梨乃¹、篠田 七海¹、東 祐斗¹ (¹岐阜県立大垣東高等学校・理数科ハリヨ班)

P9 アオスジアゲハ由来のクルトバクテリウムを用いた銅錯体化合物スクリーニング系

内藤 結彩¹、橋本 らら¹、前田 明里¹ (¹福井工業高等専門学校)

P10 熱中症と ACTN3 遺伝子多型との関連の有無

大西 耀絢¹、加藤 颯人¹ (¹福井工業高等専門学校)

P11 対峙培養法におけるヒラタケとカビの成長範囲変化

奥原 世梨¹、清水 茉優¹、延田 考聡¹、本多 正樹¹ (¹石川県立七尾高等学校)

P12 七尾高校所蔵ヤマイヌ剥製標本はニホンオオカミか

北谷内 結月¹、竹澤 翔¹、山口 色葉¹、山端 美潤¹ (¹石川県立七尾高等学校)

P13 環境 DNA を用いた能登地域の河川の魚類相の調査 (2)

坂口 友菜¹、田村 芹奈¹、藤本 雅妃¹、山崎 茉奈¹ (¹石川県立七尾高校)

P14 ハリヨの個体数変動と生息環境の相関関係

勝野 若菜¹、川端 優希¹、小林 龍生¹、野原 優華¹ (¹岐阜県立大垣東高等学校・理数科ハリヨ班)

P15 ドクターフィッシュの学習と行動

京本 実久¹、三輪 凜太郎¹、竹林 慎ノ介¹、梶原 悠生¹ (¹富山県立富山中部高等学校)

P16 ネコギギの生息域外保全の工夫

高橋 宗良¹、花井 祐大¹、平野 隆人¹、廣田 登羽¹、石田 一葉¹、坂倉 綾華¹、角崎 翠星²、角崎 瑠星²、片岡 真太郎²、西飯 信一郎^{1,2}、落合 嗣博^{1,2} (¹鈴鹿高等学校・自然科学部、²鈴鹿中等教育学校・科学部)

P17 駿河湾における小型深海カメラを用いた生物調査とプランクトンの鉛直分布解析

吉澤 勇希¹、奥平 和哲¹、小奈 祐太¹、太田 結月¹、瀬田 真路¹、眞野 水綺¹、藤江 優光¹、渡邊 竣¹、肥田友希¹、(教) 大津 孝佳¹ (¹沼津工業高等専門学校)

P19 深海生物の特性を活かした TRIZ 発想法のロボット/SDGs への活用

土屋 友梨花¹、杉山 瑳久哉²、藤島 妃那³、藤島 汐希³、眞野 水綺⁴、藤江 優光⁴ (顧問) 大津 孝佳⁴ (¹静岡市立清水第二中学校、²清水町立清水中学校、³沼津市立門池中学校、⁴沼津工業高等専門学校)

P20 Na⁺/K⁺ ATPase が有尾両生類の尾の再生に与える影響

小林 龍弥¹、金子 芽依¹、山口 雅裕² (¹鈴鹿高専・総合イノベーション工学専攻、²鈴鹿高専・生物応用化学科)

P21 有尾両生類の尾部再生におけるレチノイン酸受容体の役割

金子 芽依¹、小林 龍弥¹、谷 昌俊¹、山口 雅裕² (¹鈴鹿高専専攻科・総合イノベーション工学専攻、²鈴鹿高専・生物応用化学科)

P22 九頭竜川流域におけるミヤマアカネ (*Sympetrum pedemontanum*) の生息環境について

本道 一樹¹ (¹福井県立藤島高等学校)